



## 令和2年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 松浦一慶 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 令和2年2月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	242,553	△4.7	21,540	△20.3	23,518	△19.7	16,668	32.5
31年3月期第3四半期	254,550	1.4	27,020	△11.9	29,303	△10.8	12,575	97.3

(注) 包括利益 2年3月期第3四半期 17,752百万円(782.6%) 31年3月期第3四半期 2,011百万円(△89.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	76.27	76.16
31年3月期第3四半期	57.18	57.10

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第3四半期	440,563	272,374	61.1
31年3月期	424,937	259,156	60.3

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 269,268百万円 31年3月期 256,167百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
2年3月期	—	11.00	—		
2年3月期(予想)				10.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	△5.2	25,000	△24.6	27,000	△25.7	18,000	△2.5	82.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日(令和2年1月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	237,075,556株	31年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	2年3月期3Q	18,515,397株	31年3月期	18,577,060株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	218,535,512株	31年3月期3Q	219,907,679株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、令和2年1月30日(木)に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明テレフォンカンファレンスを開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を振り返りますと、長期化する米中間の貿易摩擦や中国経済の減速、英国のEU離脱問題など世界経済をめぐる懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,425億53百万円となり、前年同期に比べて119億96百万円の減収となりました。また、営業利益は215億40百万円と前年同期に比べて54億81百万円の減益、経常利益は235億18百万円と前年同期に比べて57億84百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は166億68百万円と減損損失等の特別損失が減少したことにより前年同期に比べて40億92百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、国内販売・輸出・海外子会社ともに、世界経済減速の影響を受け自動車産業向けを含む一般工業品用途の需要が弱く、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

合成ラテックス関連では、経済減速の影響により化粧品材料や一般工業品用途などの需要減に加え、原料動向に連動した手袋用途の価格下落により、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

化成品関連では、主力の水島工場で定期検査を実施した影響により生産量見合いの出荷を継続する一方で、アジア市況が軟化したことが重なり、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて137億52百万円減少し1,354億69百万円、営業利益は前年同期に比べて58億58百万円減少し85億44百万円となりました。

#### (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学樹脂、光学フィルムともに販売が堅調に推移しました。この結果、高機能樹脂関連は売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

高機能ケミカル関連では、化学品、電子材料、トナーは売上高、営業利益ともに前年同期を下回りましたが、電池材料の販売は堅調に推移し、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。この結果、高機能ケミカル全体の売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて32億7百万円増加し678億69百万円、営業利益は前年同期に比べて2億75百万円増加し132億37百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は前年同期に比べて17億88百万円減少し407億55百万円、営業利益は前年同期に比べて2億80百万円減少し16億71百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、156億26百万円増加し、4,405億63百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、有形固定資産の増加等によるものであります。

#### (負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ、24億8百万円増加し、1,681億89百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、未払金の増加等によるものであります。

#### (純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ、132億18百万円増加し、2,723億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、令和2年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（令和2年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,534	40,196
受取手形及び売掛金	74,823	73,576
電子記録債権	3,529	3,218
商品及び製品	52,494	53,633
仕掛品	3,832	3,819
原材料及び貯蔵品	14,799	14,970
未収入金	35,675	34,521
その他	4,631	9,787
貸倒引当金	△80	△87
流動資産合計	227,238	233,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,354	39,227
機械装置及び運搬具(純額)	33,334	30,407
土地	18,255	18,255
建設仮勘定	8,323	17,680
その他(純額)	3,057	4,198
有形固定資産合計	102,323	109,766
無形固定資産		
その他	3,197	3,352
無形固定資産合計	3,197	3,352
投資その他の資産		
投資有価証券	81,103	85,484
繰延税金資産	801	757
その他	10,505	7,816
貸倒引当金	△229	△246
投資その他の資産合計	92,179	93,811
固定資産合計	197,700	206,929
資産合計	424,937	440,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,862	80,521
電子記録債務	3,552	3,233
短期借入金	12,125	12,125
未払法人税等	6,894	1,638
賞与引当金	2,216	442
修繕引当金	4,013	1,820
その他の引当金	46	39
その他	22,331	30,197
流動負債合計	130,039	130,016
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,000	2,000
繰延税金負債	5,107	6,055
退職給付に係る負債	12,373	12,571
修繕引当金	648	944
その他の引当金	122	113
その他	5,491	6,489
固定負債合計	35,742	38,173
負債合計	165,781	168,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,240	19,252
利益剰余金	204,767	216,846
自己株式	△17,238	△17,181
株主資本合計	230,981	243,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,117	26,095
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	2,629	1,499
退職給付に係る調整累計額	△1,560	△1,454
その他の包括利益累計額合計	25,187	26,140
新株予約権	296	283
非支配株主持分	2,693	2,823
純資産合計	259,156	272,374
負債純資産合計	424,937	440,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	254,550	242,553
売上原価	180,390	172,803
売上総利益	74,160	69,751
販売費及び一般管理費	47,140	48,211
営業利益	27,020	21,540
営業外収益		
受取利息	104	123
受取配当金	1,693	2,132
為替差益	343	—
持分法による投資利益	180	130
雑収入	570	445
営業外収益合計	2,890	2,830
営業外費用		
支払利息	156	100
為替差損	—	438
雑損失	452	313
営業外費用合計	607	851
経常利益	29,303	23,518
特別利益		
固定資産売却益	7	2
投資有価証券売却益	1	—
その他	0	—
特別利益合計	9	2
特別損失		
固定資産処分損	362	352
減損損失	8,561	—
その他	37	25
特別損失合計	8,961	378
税金等調整前四半期純利益	20,351	23,142
法人税等	7,509	6,347
四半期純利益	12,842	16,795
非支配株主に帰属する四半期純利益	266	127
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,575	16,668

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)
四半期純利益	12,842	16,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,650	1,977
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△288	△1,197
退職給付に係る調整額	82	106
持分法適用会社に対する持分相当額	25	70
その他の包括利益合計	△10,830	957
四半期包括利益	2,011	17,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,750	17,621
非支配株主に係る四半期包括利益	261	130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	147,570	64,662	212,232	42,318	254,550	—	254,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,651	—	1,651	226	1,876	△1,876	—
計	149,221	64,662	213,883	42,543	256,426	△1,876	254,550
セグメント利益	14,401	12,962	27,364	1,951	29,315	△2,295	27,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,295百万円は、セグメント間取引消去26百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,320百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8,561百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	134,091	67,869	201,959	40,594	242,553	—	242,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,378	—	1,378	161	1,539	△1,539	—
計	135,469	67,869	203,338	40,755	244,093	△1,539	242,553
セグメント利益	8,544	13,237	21,781	1,671	23,453	△1,913	21,540

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,913百万円は、セグメント間取引消去43百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,956百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。